

平成 30 年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

小論文 【専門学科・総合学科卒業生入試】		
出題意図	評価ポイント	
<p>東京 23 区内は大学の学部の新設・増設を抑制し、原則として定員増を認めないという閣議決定について、社説(1)では、そのような規制によって、地方から東京への移動を一部おさえられたとしても、逆の動きを生み出すのは難しく、若者が東京に出るのを食い止め、地方を元気にするためには、地方に雇用をつくらないと根本的な解決にはならないと主張している。また、社説(2)の筆者は、地方振興よりも、都心部の大学の活力を削(そ)ぐ弊害の方が大きく、規制の本格実施には慎重な検討が必要であると主張する。</p> <p>社説(1)、(2)で示す筆者らの考えを参考にし、受験者には、「23 区内については、2018 年度の定員増と 19 年度の大学・短大の新設を原則として認めない」とする新基準の実施による効果や問題点を考察し、新基準の妥当性について熟慮してもらいたい。</p>	問 1	指示された語句について、漢字で正確に記述していること。
	問 2	<p>「若者の東京への一極集中を是正し、地方の大学振興につなげる」という目的を達成する上で、「23 区内については、2018 年度の定員増と 19 年度の大学・短大の新設を原則として認めない」とする新基準の妥当性について、指定された字数内で論理的に説明していること。ただし、以下の事項の解答を明確に示した上で説明していただかなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 妥当であるとする理由、もしくは、妥当ではないとする理由</li> <li>・ 社説 (1)、(2) に示す方策以外で、あなたの考える地方大学の進学率を高める方策</li> </ul>